

\$name

=====

THE VEDANTA KYOKAI  
News, Updates and Miscellany from the Vedanta Society of Japan  
Oct. 2003  
Volume 1 Number 6

=====

\* かく語りき

「生ずるものは再びすべて滅びる。己のことで思い悩むはすべて虚しい。自我は塵気楼の如しであり、自我に触れる苦難はやがて過ぎ去る。眠りから覚めれば、悪夢の如くかき消されるのだ」仏陀

「立ち上がれ！目覚めよ！ゴールに至るまで止まってはならない！」  
スワミ・ヴィヴェーカーナンダ

---

\* スワミ・シッダルターナンダ回想

今年8月3日にヴァラナッシーのホーム・オブ・サービスでお隠れになった初代会長（1984 - 1993）スワミ・シッダルターナンダジ・マハラジを偲ぶ礼拝が、9月7日（日曜日）の逗子例会で営まれました。逗子センターに在住されていた9年間にスワミと親しかった古い信者が弔問に訪れ、当時を懐かしみました。

会場となったシュライン横のミーティング・ルームには、スワミの遺影が飾られ、お花や線香が捧げられました。現会長のスワミ・メダサーナンダによる紹介に続いて現【書記】の小園井氏が弔意を表し、初代【書記】のS・ラオ氏、E・森本氏、R・グプタ氏、R・カル氏、サムドラ・グプタ氏が美しい信仰歌を披露されました。

日本ヴェーダーンタ協会在住の初代僧侶として赴任されたスワミ・シッダルターナンダジは、僧団の伝統と理想に基づいたセンター活動の組織に取りかかられました。シュリー・ラーマクリシュナ、ホーリー・マザー、スワミ・ヴィヴェーカーナンダ、仏陀、イエス・キリストの聖誕祭の他、瞑想、夕拝等アシュラムでのライフ・スタイルを取り入れられました。講話、リトリート、個人面会の時間が持たれるようになり、出版物、販売量も増加を見せました。スワミは、最善の形で日本ヴェーダーンタ協会に奉仕するには、日本語の習得が鍵になると考えておられました。今回もスワミが、かなりの時間を日本語の勉強に割いておられた話が信者の方々から聞かれました。実際相当熟達しておられたのですが、健康を損なわれて十分にお力を発揮されないままインドに戻ることを余儀なくされたのでした。

参列者の言葉から、皆に愛され尊敬されたスワミ・シッダルターナンダジのお姿が偲ばれました。また初期の協会がこのような信愛に満ちた神の奉仕者の指導を受けられたことを大変幸運に思います。

昼食のブラスードを頂いた後は、今年は8月19日になったシュリー・クリシュナ聖誕祭が講話とキルタンをもって祝われました。スワミ・メダサーナンダジが日本語で話され、通訳の【伊藤芳郎氏】が英語訳するという面白い場面も多かったです。

当日の様相

[http://www.vedanta.jp/avp/photo/multimedia-photo/swami\\_siddha/index.html](http://www.vedanta.jp/avp/photo/multimedia-photo/swami_siddha/index.html)

---

\* シュリー・シュリー・カーリー・プージャ（聖母カーリー礼拝）

10月24日（金曜日）日本ヴェーダーンタ協会は、逗子センターにてマザー・カーリーの礼拝を執り行いました。今回のカーリー・プージャは、今までになく入念に設えられました。

シュライン・ルームの西側の壁は、大きな赤い布に覆われ、その両側には2つの大きなスポットライトが据えられました。シュラインと供物、礼拝用の品々が明るく照らし出されました。

祭壇中心に祀られたマザー・カーリーの小さな新しい写真は、鮮やかな花々で荘厳され、その足元を花飾りや数々のロウソクが埋め尽くしました。

夜7時頃、スワミジの合図で、日本人、インド人合わせて約56名がシュライン・ルーム、ミーティング・ルームから廊下に至るカーペット敷きのう上に座りました。アシスタント(タントラダラク)のニキル・チャクラバルティ氏とともにスワミジが、礼拝の座に着かれました。マハラジのラマクリシュナ・ミッション・ヴィディヤマンディール・カレッジ任務中に学生だったチャクラバルティ氏は、カーリー礼拝を長年実践され、プージャに大変精通しておられます。お陰様でより伝統的な礼拝と祈禱に参列できたことを感謝致します。皆がマザー・カーリーの祝福を頂きました。

2時間以上に及ぶ礼拝・祈禱中は、沈黙が守られました。(好奇心いっぱいのエネルギー溢れる子供達は走り回っていましたが)献花と信仰歌のコーラスも盛り込まれました。金曜日ということで、時間的なゆとりをもって逗子まで往復できたことと思います。プージャの後、プラサードの夕食を頂いての帰宅となりましたが、10時を過ぎても玄関前では、子供も大人も一緒になって花火に興じる姿などがみられました。夜も更け出すと、列車に間に合うようにタクシーで駅に急がれる方も多かったです。

当日の様様

<http://www.vedanta.jp/avp/photo/multimedia-photo/kalipuja2003/index.html>

---

#### \* ニュース

##### ・新橋の東京例会

新しい『バガヴァッド・ギーター』の講話は、毎月第1土曜日に行われています。皆様歓迎致します。場所は新橋駅の新橋駅前ビル2号館9階です。

##### ・逗子例会

アメリカ、ウエスタン・ワシントンのヴェーダーンタ協会長スワミ・バスカラーナダジが11月13日から21日まで逗子センターに滞在されました。11月16日の逗子例会でご講話をしていただきました。

##### ・インド大使館

10月25日東京インド大使館での講話は会場が使えなかったため、中止となりました。

---

#### \* スワミ・メダサーナダジのインド訪問

マハラジは、9月9日から10月18日までシンガポールとマレーシア滞在を含め、インドに帰国されました。その旅行予定と内容をお知らせ致します。

9月9日：成田空港からシンガポール経由でコルコタのダムダム空港へ

10日～14日：ベルール・マト、コルコタ

15日～18日：ジャイランパティ、カマルブクル

19日：ベルール・マト

20日～26日：プリ、プバネシュワール

27日～10月5日：ベルール・マト\*

10月6日～9日：ヴァラナッシー\*\*

10日：ニューデリー

11日～17日：シンガポール、マレーシア\*\*\*

---

お知らせ：

\* ベルール・マトでのスワミ・ランガナータナンダジ・マハラジはお元気な御様子で、日本の信者の皆様への祝福を送って下さいました。

\* \* 協会の寄付金から、スワミ・シッダルトアナンダジの名前で基金が設立され、ヴァラナッシー・ラーマクリシュナ・ミッション・ホーム・オブ・サービスに献金されました。利息は当地の病院運営に当てられます。

\* \* \* 僧団の新しいセンターが最近開設されたマレーシアへのスワミ・メダサーナンダジの初めての訪問となりました。

---

\* スワミ・バスカラナンダジ来館

・シアトルのウェスタン・ワシントン・ヴェーダーンタ協会長スワミ・バスカラナンダジが、11月16日の逗子例会で特別講話をされました。

[http://www.vedanta.jp/multimedia/image/sw\\_bhas/index.html](http://www.vedanta.jp/multimedia/image/sw_bhas/index.html)

・ 聖誕祭

11月5日：スワミ・スポダーナンダ

11月7日：スワミ・ヴィジャンナーナンダ

---

\* 忘れられない物語

ある夜男が夢を見ました。男は主とともに海辺を歩いていました。空には彼の人生の場面が映し出されました。そのどの場面にも砂の上には二組の足跡が見られました。ひとつは彼の足跡、そしてもうひとつは主の足跡でした。

彼の人生最後の場面が映し出されると、彼は振り返って足跡を見ました。そして人生で幾度も足跡がひとり分しかなくなっていることと、それがいつも大変つらく悲しい時期だったことに気づいたのでした。

これを苦々しく思った男は、主に問いました。「主よ、私が主とともに歩むことを決心したからには、どこまでも私と歩いて下さるとおっしゃったではありませんか。それなのに私が一番辛かった時に、足跡はひとり分しかありません。どうしてあなたを最も必要としていた時に私を離れられたのか、私には分かりません」

主は応えられた。「息子よ、可愛い子よ。私はお前を愛し、決してひとりにはしない。試練と苦難のとき、足跡がひとり分しかないのは、私がお前を背負って歩いたからなのだ」作者不明

---

\* 今月考えてみたいこと

心に働きかけること

大理石を磨いても、やがては無に帰する。  
真鍮に細工を施しても、やがては損なわれるだろう。  
寺院を建立しても、やがては塵となって崩れ落ちるだろう。  
しかし不滅の心を養うならば、  
ひたすら神を畏れつつ、信念と同胞愛を抱くならば、  
永遠を照らし出すものを心の銘板に彫り刻むことになるのだ。

ダニエル・ウェブスター

---

当協会の会長メダサーナンダジの北海道講話のストリーミングを現在流しています。ただし有志の方のご協力なので不定期となります。

[http://www.mac365.com/sapporo\\_kouwa.html](http://www.mac365.com/sapporo_kouwa.html)

=====

発行

Issued by:

日本ヴェーダーンタ協会

Vedanta Society of Japan (Nippon Vedanta Kyokai)

249-0001 神奈川県逗子市久木 4-18-1

4-18-1 Hisagi, Zushi-shi, Kanagawa-ken 249-0001 JAPAN

Phone: 046-873-0428 Fax: 046-873-0592

website: <http://www.vedanta.jp> email: [info@vedanta.jp](mailto:info@vedanta.jp)

[KENB006-J]

このニュースレターが必要ない方はそのまま、返信して  
ください。アドレスから削除します。

=====